

移住者インタビュー～移住者にお聞きしました～

第6回：柳澤 零（やなぎさわ れい）さん（36歳）

【プロフィール】

柳澤さんは2012年3月に、京都市左京区から佐久市に転入されました。

現在は、佐久市平賀で「**Maru Cafe**」を運営され、地域に根ざしたお店づくりに奮闘中です。お店では、カフェと手作り食品の販売を行っています。

身体に優しいカフェランチや手作り焼き菓子等を提供し、市内外で着実にファンを獲得しています。

店名の「**Maru**」には、自然との繋がり、人との縁、継続、循環への想いが込められているそうです。

(1) 佐久市に移住された理由

- 海外生活ののち、軽井沢の「エンボカ」で週6日間働く合間の休みに、生産農家との繋がりを求めて長者原の畑で作業をした。実は奥様はその時の作業仲間。
- 研修先の農家の皆さん、お茶した「YUSHI CAFÉ」のマスター、職人館のご主人など、知り合った皆さんのお人柄に惚れて佐久市に住もうと決めた。

(2) 佐久市に移住された感想

～良かったこと～

- 自然が豊かで食材も豊富なこと。
- 開業にあたり競合店も少なく、地域に早く知ってもらえたこと。
- 季節の移ろいが肌で感じられること。イメージーションの源になっている。

～悪かったこと～

- 最初は、人付き合いにおける距離感の違いに戸惑った。焦らず時間をかけて相互理解に努めることが必要と学んだ。
- 車無しでは暮らせないため、出店できる場所が限られること。

(3) これからの目標

- この春からお店の加工場、「**Maru Cafe Shoten**」を地域の人やこの平賀の地区で暮らしている人達を対象に、日常的にふらっと、『気楽に休める』休憩場所として公開したいと思っている。
- 地元の人を対象に、その人達の暮らしの中の食卓に落とし込む、やすい「お惣菜」を提供できるよう、今年の秋を目標に準備していきたい。